

経営比較分析表

福島県 泉崎村

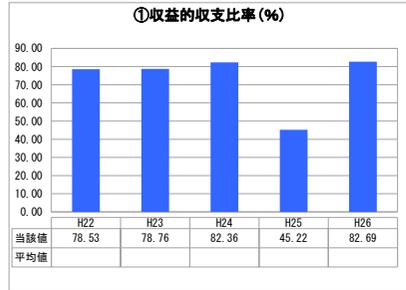
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	94.23	100.00	3,060

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,711	35.43	189.42
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
6,319	17.30	365.26

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



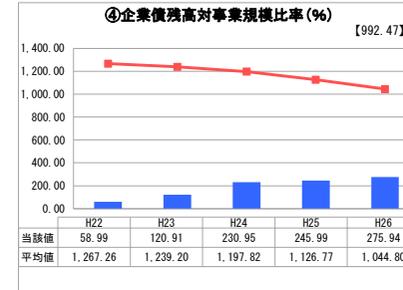
「単年度の収支」



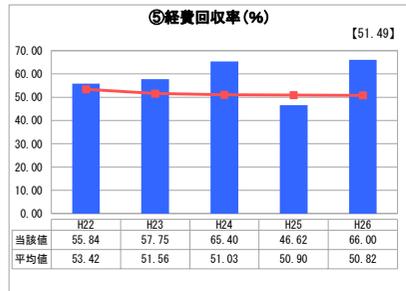
「累積欠損」



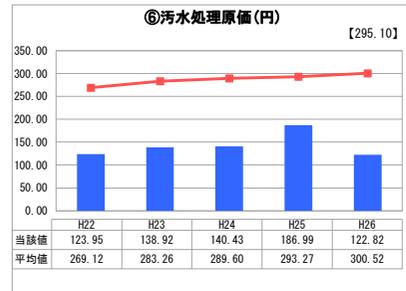
「支払能力」



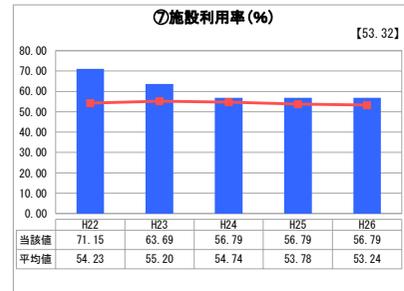
「債務残高」



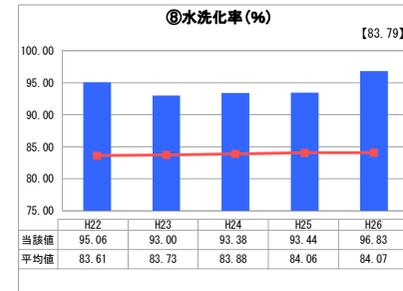
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

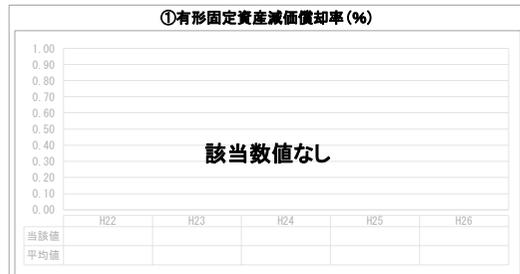


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

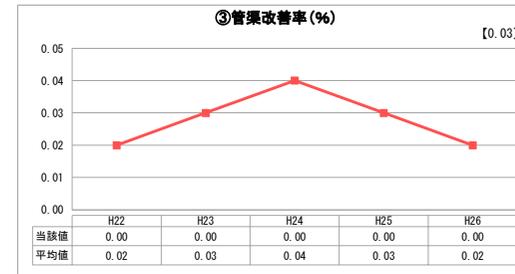
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

平成4年・5年度債の償還完了に伴い、地方債償還金が減っているが、さらなる費用を削減し、今後も健全経営を続けていく。
 汚水処理原価が下がったことにより、経費回収率がアップしているが、未回収の使用料の回収に努め、適正な使用料の収入を確保したい。
 水洗化率は96.83%と右肩上がりではあるが、さらなる水洗化率の向上に努めていきたい。

2. 老朽化の状況について

全体総括

全体的に右肩上がりの健全経営ではあるものの、今後も経費の削減や、使用料収入の増加に努め、健全経営を図ってきたい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。